

（平成 23 年度 JAM・ビクター高齢者・退職者の会）

■日時：2010. 10. 3(日) 14:00～15:00

■場所：日本ビクター労働組合 勤労会館 3 階大会議室

JVC シニアクラブ
（文責・総会書記：西郷治男）

1. 開会 [14:00]

◆司会の高石副会長より開会挨拶が行われた後、シニアクラブ会員の物故者 3 名（敬称略：長谷部光弘、稲葉昌盛、高橋教章）に対して黙祷が行われた。

◆続いて、司会より議長選出の事務局案（宮田宏美氏）が提案され、承認された。

2. 総会役員選出

◆議長の宮田氏が登壇、自己紹介の後、書記・西郷が任命された。（役員含め 54 名出席）

3. 会長挨拶 [14:10]

◆菅沼会長より挨拶。

<要旨>

- ・JVCシニアクラブは 9 回目の総会を迎え、これ迄の 8 年間の諸活動に対して感謝する。
- ・本日は来賓として労組の君塚委員長を迎え、後ほど経営の現況も含めて挨拶をいただくが、労組には発足以来、物心両面にわたりご支援いただき、厚くお礼申し上げたい。
- ・今年の夏は記録的な猛暑となったが、8 月から 9 月にかけては高校野球、世界柔道、相撲をはじめ、プロ野球のセパ混戦などスポーツ界では元気の出る明るい話題も続いた。
- ・一方、取り巻く環境は問題が山積し、特に政治は先行き不安が増大している中で、JVCシニアクラブは皆様にご協力いただき、これまで津田やたろう氏を支援して活動してきた。
- ・今後とも余生を安心して暮らせる社会の実現に向けて活動していくが、会員数も 230 名を擁する組織となり、更なる拡大を図っていかなければならない。日常活動を進める中で、更なるご支援ご協力をよろしくお願いしたい。

4. 来賓挨拶 [14:20]

◆ビクター労組・君塚委員長より挨拶。

<要旨>

- ・JVCシニアクラブ第 9 回総会の開催を祝しますと共に、お招きに対して御礼申し上げます。
- ・本日は皆様の最大の関心事であるビクターの現況についてご報告し、挨拶に代えたい。
- ・年初には過去 5 年間の不正会計処理による 15 億円の課徴金請求で世間の信用失墜となったが、コンプライアンス機能を強化し事業の正常化・効率化に取り組んで来た結果、来年 4 月からは事業会社（ビクター/ケンウッド）の取締役会をホールディングスに集約し HD ひとつで運営する経営改革を決定。また再建計画の最終で横浜工場が売却となり、年内に職場・人員の移動を終え、来春には佐川急便の物流拠点が現れようとしている。
- ・今年度上期決算は 10 月末発表予定で、売上げ・利益共に着実に回復見込みとのこと。
- ・一方、JVCとケンウッドの労組活動の融合から組織統合の準備に向けた話し合いが進められつつあり、経営の復活・浮上のきっかけとすべく、しっかり取り組んでいきたい。
- ・社会改革運動については、民主党の政権交代実現に向けた取り組みや参議院議員・津田やたろう氏、横須賀市議・伊関こうじ氏への支援活動に対し、多数の皆様にご理解・ご協力をいただいております、今後とも変わらぬ力強いご支援をよろしくお願いしたい。

5. 報告 [14:30]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で報告。

(1)平成 22 年度活動報告

＜議案書 1～3 ページ参照＞

・一年間の活動状況は 1～3 ページのとおりで、支部活動が徐々に充実してきたが、今後は支部間の交流も大切である。会員数は現在 228 名で、新規加入は 9 名ながら会費未納や病気などによる退会者もあり、全体の会員数は横バイ、伸び悩み状況にある。

(2)平成 22 年度会計収支決算報告

＜議案書 4 ページ参照＞

・「JVCシニアクラブ便り」の年 4 回発行計画が実績は 5 回となり、その分送料が計画比 130%となったが、全体の予算対比では 82%となった。

(3)平成 22 年度会計監査報告

＜議案書 5 ページ参照＞

・会計監査の飯田氏より「7/31 現在の財務諸表について厳正に審査を行った結果、会計処理はすべて適正であることを認めた」と報告された。

◆報告事項(1)～(3)に関する質疑なし。

～(1)(2)(3)一括し、拍手で承認

6. 議案 [14:40]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で提案。

(1)平成 23 年度活動方針に関する件

＜議案書 6～8 ページ参照＞

・来年は結成 10 年目を迎え、新たな飛躍に向けて「1人が1人を呼べば倍増」の会員拡大の運動を最重点とし、特に未加入者を勧誘して粘り強く会員増活動を継続していく。
・来年春予定の統一地方選で伊関こうじ氏に加え、我々の仲間から流山市議選に西川誠之氏が立候補予定。地方JAMとの連携し、力を合わせて応援する。

(2)平成 23 年度会計収支予算に関する件

＜議案書 9 ページ参照＞

・予算額は昨年実績をベースとし、支部活動補助は一層の活発化を見込んで全体では昨年実績並みとし、予備費を含めて約 10 万円の増額となっている。

◆議案(1)(2)に関する質疑なし。

～(1)(2)一括し、拍手で承認

◆続いて、百瀬副会長より(3)を提案。

(3)平成 23・24 年度役員選出に関する件

＜議案書 10 ページ参照＞

・菅沼会長以下、基本的に現体制の候補者が紹介された。～全員が一括、拍手で承認
但し、会計監査・大西氏が都合により退任され、幹事・鎌田孝雄氏が後任として就任。
・全員の自己紹介と挨拶の後、事務局次長として労組・延広堅太郎氏が紹介された。

7. 閉会 [14:55]

・議長降壇、書記解任のあと、司会より閉会の挨拶があり、15:00 予定通り閉会した。

以上

■総会終了後、15:05 より田代事務局長の案内により、横浜工場内第一工場の東側門脇にある我々にとって記念すべき「モニュメント(ビクターマークレリーフ)見学と写真撮影」が行われた。

■15:35 より、「参議院議員・津田やたろう氏の国会報告」が行われた。(質疑応答は懇親会で)

＜要旨(項目のみ)＞

・尖閣諸島問題 ・臨時国会での菅首相施政表明 ～ ①経済対策 ②財政健全化
③社会保障施策 ④外交政策 ⑤政治改革:企業献金廃止、国会議員削減

■16:15 より、隣接する会議室で、「交流懇親会」が活発に行われ、18 時過ぎに終了した。